

# 自転車と伊豆 今、走り出す

～地方開催地における取り組みについて～



平成31年1月21日

静岡県伊豆市  
東京オリンピック・パラリンピック推進課

# 伊豆市の紹介

- ・位置: 東京まで約100km、大阪まで約310km
- ・気候: 年間を通じて温暖な気候に恵まれています。

- ・アクセス: 東京⇒三島 約 60分  
大阪⇒三島 約180分  
乗換え 三島⇒修善寺 約30分



人口: 30, 968人  
(平成30年12月1日現在)



- ③② 江の島ヨットハーバー
- ③③ 伊豆ベロドローム
- ③④ 伊豆MTBコース

(公財)東京2020オリパラ組織委員会HPより



▲世界農業遺産『わさび』



▲紅葉のライトアップ



▲駿河湾越しの富士山



▲夏の富士山

# 伊豆開催決定の経緯

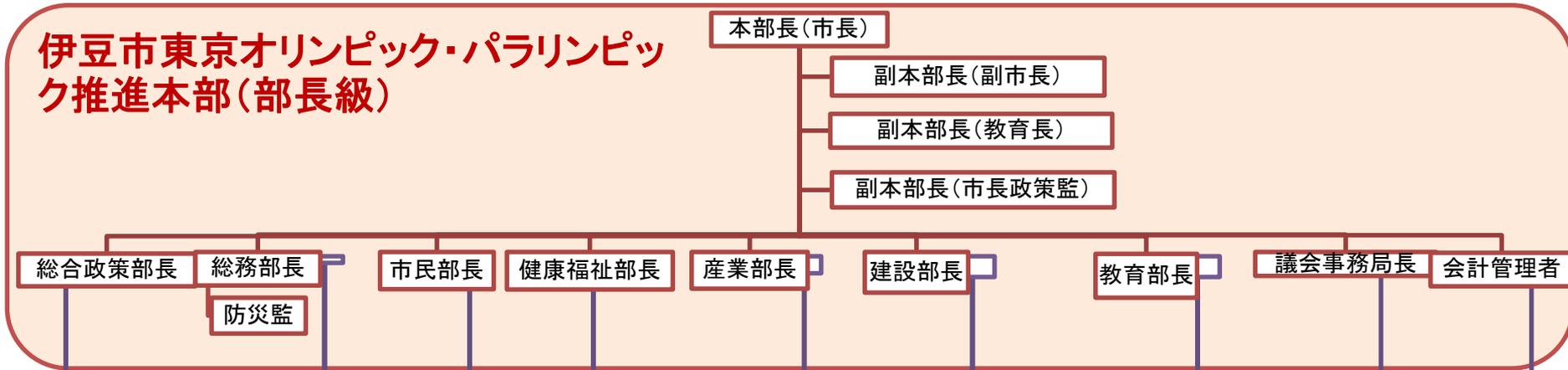
- ・立候補ファイルでは、トラック・レース会場・マウンテンバイク会場とも、有明に仮設で建設される予定でした。
- ・2014年12月に開かれた国際オリンピック委員会（IOC）の臨時総会において、オリンピックの中長期改革計画「アジェンダ2020」が満場一致で採択されました。
- ・開催都市のコスト軽減や実施競技選定の見直しなどが東京大会から行われることとなり、また、大会終了後のレガシー（遺産）も重要視され、既存施設を有効活用する観点から、国内唯一の屋内250m木製トラック自転車競技場『伊豆ベロドローム』がトラック・レースの会場として変更承認されました。
- ・併せて、同敷地内にあるマウンテンバイクコースを改修し、マウンテンバイク競技もサイクルスポーツセンター内で開催されることとなりました。



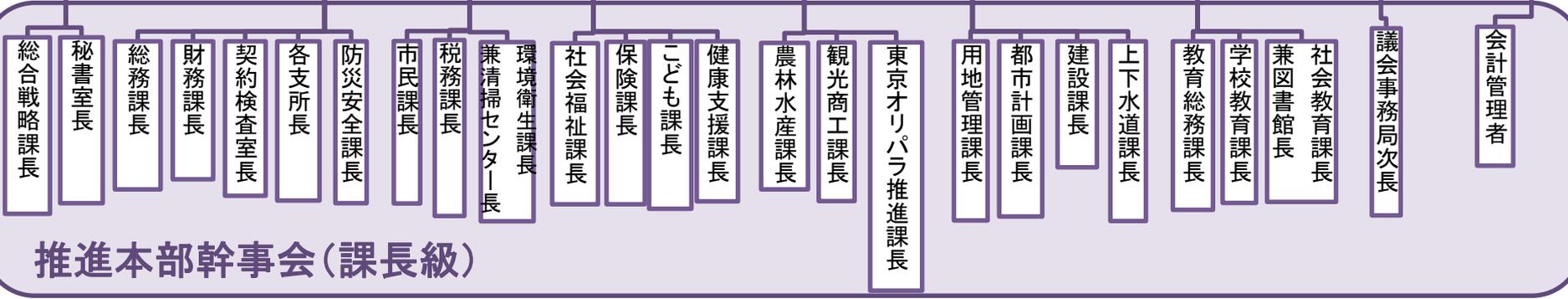
「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 伊豆オリンピック開催決定を祝う会」  
日程：H27年（2015年）12月10日実施  
場所：修善寺総合会館前

# 伊豆市の体制

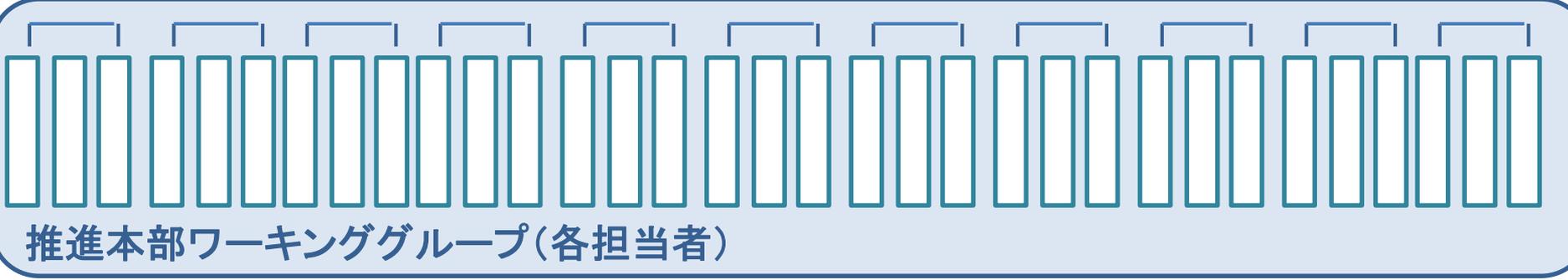
## 伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進本部(部長級)



## 推進本部幹事会(課長級)



## 推進本部ワーキンググループ(各担当者)



# 伊豆市としての現在までの取り組み

## 【伊豆市東京オリンピック・パラリンピック推進本部】

H28年1月 6日(水)立ち上げ

1月 8日(金)第1回会議

2月 1日(月)第2回会議

3月 29日(火)第3回会議

10月 4日(火)第4回会議

H29年5月 1日(月)第5回会議

H30年5月21日(月)第6回会議

9月27日(木)第7回会議

10月 1日(月)第8回会議



## 【実施しているワーキンググループ】

### (基本方針)

- ・総合戦略課
- ・都市計画課
- ・観光商工課

### (交通・輸送)

- ・建設課
- ・都市計画課

### (ボランティア)

- ・社会福祉課
- ・教育総務課
- ・学校教育課
- ・社会教育課
- ・農林水産課
- ・観光商工課

### (文化・教育)

- ・総合戦略課
- ・社会教育課
- ・教育総務課
- ・学校教育課
- ・社会教育課
- ・こども課

### (アクセシビリティ)

- ・総務課
- ・総合戦略課
- ・こども課
- ・保険課
- ・社会福祉課
- ・観光商工課
- ・建設課
- ・用地管理課

### (レガシー)

- ・観光商工課
- ・総合戦略課
- ・建設課
- ・用地管理課
- ・社会福祉課 等

### (広報)

- ・秘書室
- ・観光商工課

### (宿泊対策)

- ・観光商工課

### (国際化)

- ・総務課・総合戦略課・環境衛生課
- ・観光商工課・都市計画課

### (財源確保)

- ・財務課

## 【今後想定されるワーキンググループ】

おもてなし、物産・物産品、防災・警備、環境整備、医療、清掃・廃棄物

# 東京2020大会自転車競技伊豆開催に伴う 伊豆市の方向性

テーマ	目標	施策
修善寺駅周辺のまちづくりの推進	伊豆市の玄関口整備	<ul style="list-style-type: none"><li>・賑わいと回遊性のある中心市街地づくり</li><li>・交流を支える道路ネットワークの整備</li></ul>
国際的な観光文化環境都市の実現	風情・風格が漂う国内外に誇れるまちづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・地域資源を活用した戦略的観光事業の推進</li><li>・農地所有適格法人の誘致と6次産業化の推進</li></ul>
インバウンドの推進	おもてなしのまちづくり	<ul style="list-style-type: none"><li>・まちのブランド化の推進</li><li>・戦略的なシティプロモーション</li></ul>
自転車まちづくりの推進	サイクリングリゾート伊豆の実現	<ul style="list-style-type: none"><li>・市民への自転車の浸透</li><li>・受け入れ態勢の整備</li><li>・情報発信の強化</li></ul>
東京2020大会伊豆開催に向けて	安全・安心なまちづくりと市民の機運醸成	<ul style="list-style-type: none"><li>・有事の際の世界各国からの観戦客の対応</li><li>・市民の参画と機運醸成</li></ul>

# 東京2020大会自転車競技伊豆開催における 伊豆市のレガシー創出に向けた取組み

有形レガシー(スライド8~14)	無形レガシー(スライド15~20)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・『おもてなし』サポーターの募集・育成(都市ボランティア)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルツーリズムに向けた取組み(講演会、実技)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バリアフリーマップ作成支援のバリア調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランニングバイク出前講座</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内県道・市道の拡幅</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京五輪音頭-2020-練習会(小中学校、一般市民)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内県道・市道への矢羽根の設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊豆市版オリパラ情報誌への撮影協力</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッシュレス化に向けた取組み(説明会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流員(CIR)の任用(異文化理解講座の開催)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・花と緑のおもてなし空間創出</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『デイ・カウンター』リレーの実施</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車まちづくりの推進</li> </ul>	

※無形レガシー＝mind＝オリパラとの係わりの意を含む

# 『おもてなしいず』サポーターの募集・育成

## 【「おもてなしいず」サポーター】

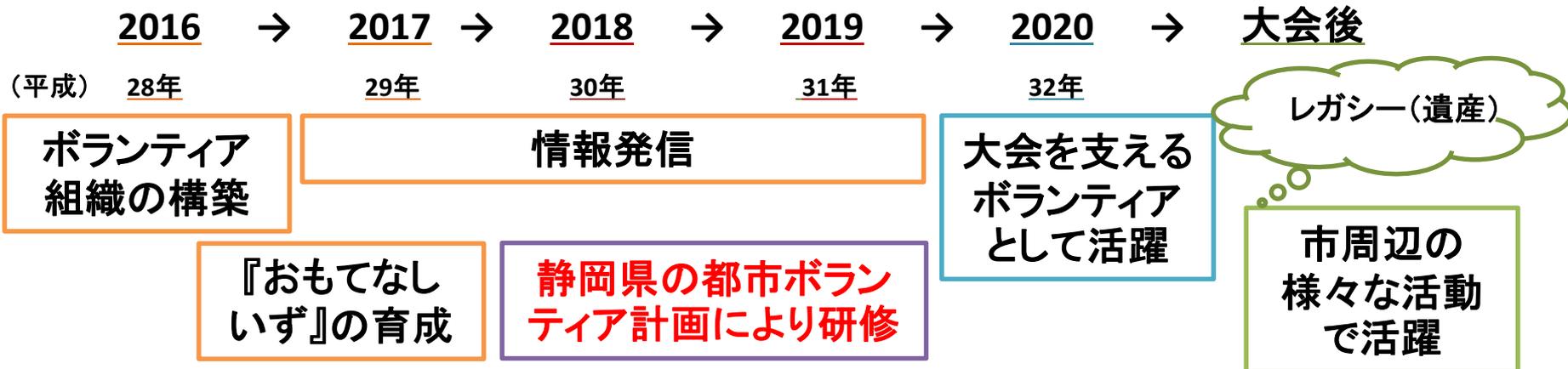
運営主体：伊豆市

活動：修善寺駅、市内観光スポットなどで、国内外からの観戦者や観光客へ観光案内や交通案内を行う。

特記：東京2020大会関連ボランティアとして、全国に先駆けH28年度に募集・育成した。



## 伊豆市(静岡県)でのボランティアのスケジュール(予定)



※『おもてなしいず』サポーターは、H30年度より静岡県の都市ボランティア計画により活動。

# バリアフリーマップ作成支援バリア調査①

	修善寺温泉街の一部エリア	修善寺駅周辺
要旨	オリンピック・パラリンピック等経済界協議会(以下、「オリパラ経済界協議会」という。)の支援を受け、庁内関係課で組織されているアクセシビリティワーキング・グループの活動として、バリア調査のシミュレーションを行った。	
調査日時	平成29年7月19日(水) 13時00分～15時30分	平成29年9月29日(金) 13時00分～16時00分
調査場所	修善寺温泉街の一部エリア	修善寺駅周辺
参加者	市職員13名、 オリパラ経済界協議会7名	市職員11名、県職員3名、 オリパラ経済界協議会5名
収集項目	道路・通路の幅員、勾配、段差、高齢者・車椅子利用者が通行する際にバリアとなる箇所等、案内看板、トイレ	
収集方法	同協議会の支援用タブレット端末	
収集結果	調査路線90路線、観光案内板9ヶ所、トイレ4ヶ所、駐車場2ヶ所、横断歩道1ヶ所(収集時間:60分)	調査路線189路線、観光案内板5ヶ所、トイレ1ヶ所(収集時間:60分)
今後の活動	バリアフリーの情報等のデータを収集して、収集したデータをオープンデータ化することで、企業・NPO等によるバリアフリーマップの作成に貢献することを目的とする。 今後、伊豆市以外の管理者にバリアフリー調査の理解と協力をいただき、バリア情報の収集と情報発信に努める。	

# バリアフリーマップ作成支援バリア調査②

▼車イスの移動がスムーズにできるかを調査



▲道路の傾斜を測定

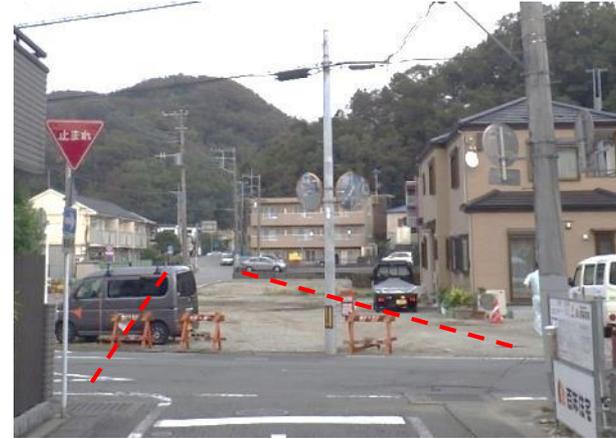


▲歩道の幅を測定

# 市内県道・市道の改良・拡幅



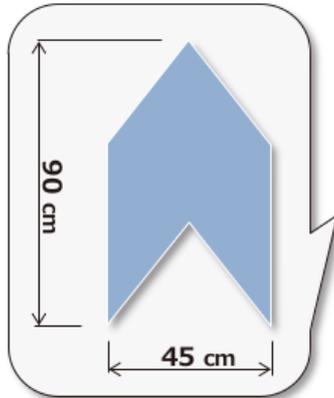
改良(立退き)前



改良(立退き)後(イメージ)

# 市内県道・市道への矢羽根の設置

伊豆地域では以下を標準に設置  
・幅45cm×長さ90cm  
・設置間隔40m



# キャッシュレス化に向けた取組み(説明会)

## Step 1

### キャッシュレス決済説明会

場所: 修善寺総合会館2階 大研修室

講師: (株)リクルートライフスタイル(決済提供会社) / 楽天(株)(決済提供会社)

目的: 市内事業者向けにキャッシュレスに関する基礎知識を深める※全62名参加

## Step 2

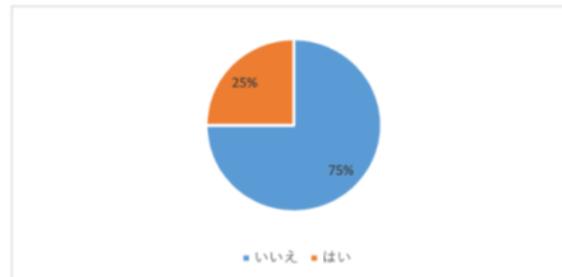
### キャッシュレス活用セミナー

場所: 修善寺総合会館2階 大研修室

講師: (株)リクルートライフスタイル(決済提供会社) / 岸本ビジネスサポート(株)(事業コンサルティング会社)

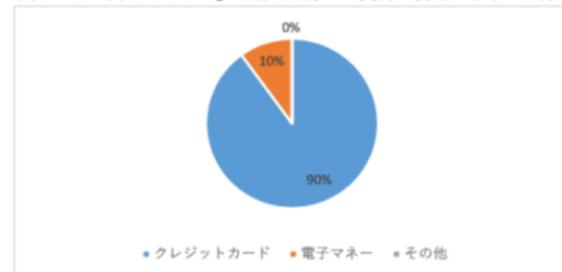
目的: 導入に係る不安要素である「決済手数料」や「初期費用」に関して、捉え方の転換を促す / キャッシュレスで商売繁盛に繋げるための導入方法を専門家からアドバイス※全36名参加

問2 現金以外でのお会計は可能ですか (〇は1つ)



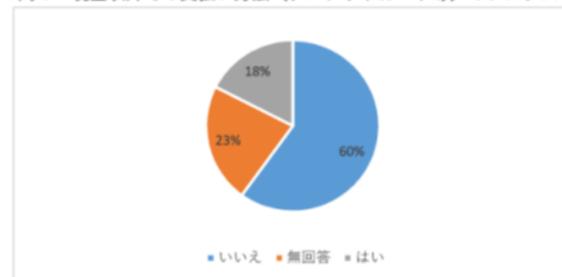
いいえ	75%	30
はい	25%	10
合計		40

問2-2 問2で「はい」と答えた方への質問 使えるものは何ですか (〇は1つ) (n=10)



クレジットカード	90%	9
電子マネー	10%	1
その他	0%	0
合計		10

問4 現金以外での支払い方法(クレジットカード等)のシステムの必要性を感じますか (〇は1つ)



いいえ	60%	24
無回答	23%	9
はい	18%	7
合計		40

▲H30年2月~3月実施

# 花と緑のおもてなし空間創出

## 1 維持管理方法

- ・自宅前、店舗前は、それぞれが管理すると考える。
- ・管理するには、高い場所に設置すると管理しにくい(水やり等)。=長続きしない。

## 2 飾り方のイメージ

### (1)駅周辺

- ・駅北には、伊豆市にまつわる桜(土肥桜、修禅寺桜)を植える。
- ・駅西広場に「わさび沢」をイメージしたモニュメントを設置。

### (2)商店街

- ・駅周辺を歩いて楽しめるような演出。

## 3 参加、募集方法

- ・子どもから高齢者まで参加できるイベント仕立てにしてみてもは。

## 4 今後の対応方針

- ・農林水産課が主となり「花と緑のおもてなし空間整備支援事業」推進のために協議会を編成し、花とみどりのおもてなし空間演出の方針、維持管理の方法等を検討する。



▲区民によるワークショップ

# 自転車まちづくりの推進

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を好機として捉え、市民と来訪者が自転車を利用する、自転車を軸としたまちづくりを進めます。

伊豆市の特徴である日本サイクルスポーツセンター(CSC)や温泉、旅館を中心として、市民、観光、サイクルスポーツの視点からそれぞれの将来の姿を掲げ、その実現に向けて取り組んでいきます。

## 基本方針 1 市民への自転車の浸透 **市民** **サイクルスポーツ**

- アジア有数のサイクルスポーツ施設であるCSCとの連携により、自転車や自転車競技を市民にとって身近なものにしていきます。

## 基本方針 2 受け入れ体制の整備 **観光**

- 伊豆市内の自転車の拠点を中心に、旅館や観光施設等と連携しながら、観光客やサイクリストが伊豆市で自転車を楽しむことができる環境を構築していきます。

## 基本方針 3 情報発信の強化 **観光** **サイクルスポーツ**

- 市民や市内事業者、各種メディアとの連携により、国内外に向けて自転車と伊豆の情報発信を行い、伊豆市の知名度と好感度を高めていきます。

# 伊豆市ユニバーサルツーリズム研修会 (講演会、実技)

【目的】 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催を踏まえ、障がいのある方や高齢の方でも伊豆市の旅行を楽しんでいただくためのヒントやお金を掛けなくてもできるバリアフリーを知るきっかけとなることを目的に開催した。

## 【内容】

- ・講義：ハードがダメでもハートで受け入れユニバーサルツーリズム  
～国内外のバリアフリー旅行事例からヒントを学ぼう～
- ・体験研修：観光地における車椅子サポートのポイント・アイマスクを使った手引き体験

📷 座学の様子



📷 車いすの補助の仕方について

# ランニングバイク出前講座

【目的】 市内保育園及びこども園の園児を対象にランニングバイク教室を実施し、自転車に親しむきっかけづくりと興味を持たせることにより、将来の自転車愛好者の増加を狙う。

また、東京2020大会を契機にオリンピック出場を目指す自転車競技選手と触れ合う事で“オリンピック選手を目指す”きっかけづくりとなることを目的とする。

さらに発育中の子ども達に楽しみながら足腰を鍛える効果も期待できるため、いつでもランニングバイクに乗れる事ができる環境づくりの推進を図る。

【対象】 市内保育園及びこども園の4、5歳児

先生の後に続く園児



記念の金メダルと一緒に

# 東京五輪音頭-2020-練習会 (小中学校、一般市民)

大会開幕2年前の平成30年7月24日(火)から、東京2020大会自転車競技(トラック・レース/マウンテンバイク)開催地として、職員が一体となって東京五輪音頭-2020-を練習することで、職員自身に当大会への関わりを実感してもらい、職員の機運醸成を図るだけでなく、職員が同音頭を踊れるようになることで、各部署や地域でのイベントにて積極的に同音頭を実施することができ、地域での機運醸成を図れる体制の基礎を構築することを目的に、全庁的に『東京五輪音頭-2020-』の練習をしている。

伊豆市内小・中学校の児童・生徒に、東京2020大会への関わりを感じ、当大会への興味・関心を抱かせるため、『東京五輪音頭-2020-』練習会を実施する。

👓 練習に励む児童



👓 練習に励む一般市民

# 伊豆市版オリパラ情報誌への市民参画

世界最大のスポーツイベント「オリンピック・パラリンピック競技大会」が、地元で開催されることに誇りをもち、市民全員で盛り上げ、おもてなしすることを主とした「東京2020大会自転車競技伊豆開催情報誌」を作成し、市内全戸に配布予定。



▲700名以上の市民が参加した伊豆市版オリパラ情報誌の撮影会

# 国際交流員（CIR）の任用 （異文化理解講座の開催）

言語や文化の違い、オリンピック・パラリンピックについて体験的な理解を深め、『国際的な観光文化環境都市』を目指すとともに、東京2020大会自転車競技（トラック・レース／マウンテンバイク）が開催される伊豆市民としての多文化理解の素地を養う。

また、外国語に慣れ親しむ活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するきっかけとする。



▲園児に読み聞かせをするCIR



▲オリパラかるたを行う児童

# 『デイ・カウンター』リレーの実施

みんなであつなごう！東京2020大会への想い



▲指定された残日数を記入

▲修善寺駅構内等のサイネージに表示



# 東京2020大会自転車競技伊豆開催における 伊豆市のレガシー創出に向けた取組み課題

## 1 ボランティア

- ・大会終了後、大会ボランティア、都市ボランティアに従事した方の受け皿が明確でない。
- ＝取りまとめの規模(県or東部地域or伊豆半島or市町)、団体が不明確。

## 2 アクセシビリティ(ユニバーサルデザイン)

- ・市内有数の観光地である修善寺温泉場は、全体が古き日本の街並みを形成している。路面一つとっても「石畳」のようになっており、車いすユーザーや視覚障害で杖を使用する方などには、障害(＝バリア)の1つとなってしまっている。

## 3 キャッシュレスの推進

- ・経営者の多くが高齢者である。
- ・高齢者＝電子決済の仕組みが分かりづらい。
- ・後継者不足により、新規事業への意欲がわかない。

### 3 自転車まちづくり

- ・サイクリストは、1日で100km以上移動することもあり、市内コースには収まらない。
- ・「サイクリストの憧れを呼ぶ聖地“ふじのくに”」の実現を掲げる県、伊豆半島各市町の取り組みに対する温度差がある。
- ・「観光地、伊豆」ということもあり、マイカーでの来訪者(地域住民含む)との共存が必要。
- ・レガシー大会(世界選手権、ワールドカップ等)を開催する際の費用負担等。

### 4 宿泊施設

- ・大会開催時期が夏季であり、市内をはじめ伊豆半島の約8割ほどの宿泊施設が一般の観光客で埋まっている状態であり、オリパラ観戦客をどのように受け入れるか。

### 5 全体を通して

- ・「伊豆」と言うブランドを世界にアピールする千載一遇のチャンスであり、大会終了後、どのようにリピートさせ、経済効果を生み出すか。
- ・大会終了後、市民のモチベーションをいかに保つか。



ご清聴ありがとうございました

海上県道223号線から望む富士山(土肥八木沢)